



水道の歴史

水道施設紹介

水道事業の黎明期

水道が整備される前の宇都宮市の中心部では飲用に適する水が少なく、伝染病などの問題があったことから、水道整備に対する要望が高まりました。水質などを検討した結果、明治42年(1909年)に大谷川を水源とする今市浄水場の建設が決まり、大正2年(1913年)に整備工事を開始し、大正5年(1916年)3月1日に市内への通水を開始しました。

現在でも、通水当初から変わることなく良質な原水を緩速ろ過方式で浄水し、宇都宮市内に供給しています。

なお、この時期に整備された今市浄水場旧管理棟(現資料館)、戸祭配水場配水池、今市浄水場第六接合井は有形文化財として登録されています。

※現在、新型コロナウイルス感染症予防のため、見学は中止しています。

歴史があるね!!



今市浄水場



赤い屋根の木造の旧管理棟がトレードマークの今市浄水場は、日本で31番目に通水を開始した浄水場です。

建設後、100年以上が経過したことから、老朽化対策と耐震性を確保するため、令和4年度から更新工事を開始する予定です。

基本的な景観やろ過方式は変更せず、使用する薬品や消費電力の少ない環境に優しい浄水場として更新していきます。

アレンガの素敵だね



当初は今市浄水場からの浄水を配水するための施設でしたが、現在は、今里町にある松田新田浄水場からの浄水を高架水槽を利用して、配水場周辺の地域に配水しています。

創設当時から残る配水池は、煉瓦アーチの外壁が特徴的です。

戸祭配水場



日光街道にほぼ平行して敷設された延長約25kmの送水管にかかる水圧を調節するための施設として使われていました。深さ2.3mのコンクリート造構造物の上に、西洋城郭風の八角形の煉瓦造上屋が建てられています。

八角形が可愛い♡



今市浄水場第六接合井

問 水道管理課 今市浄水場 ☎0288-21-0158
配水管理センター ☎624-8044



台風や大雨への備え

上下水道局が行っている主な備え



まちを守る



「雨水管きよ」の工事

まちなかでの浸水を防止・軽減するために、雨水を川に流す『雨水管きよ』の工事を進めています。

施設を守る



「止水板」の設置

上下水道局施設の浸水を防止するため、『止水板』の設置などを進めています。

水道・下水道をご利用のみなさまへ

！ 台風や大雨のときは、お風呂などの水をすぐに流さないご協力を！！

ご家庭での排水の工夫

台風や大雨のときは大量の雨水が下水管に流れ込みます。下水管が雨水で満杯になると、下水が流れにくくなる場合があります。少しでも改善するために、お風呂や洗濯の水は、雨が止んでしばらく経ってから流すなど、工夫をお願いします。



雨水が下水管に入り、水でいっぱいになる



家の下水が流しにくくなる場合がある

そのため

雨が止み、しばらく経ってからお風呂の水を流す

雨どいの接続先

多くの地区では、家からの雨水は下水管に流せません。『雨どい』などの水が下水管に入っていることを発見した場合は、改修をお願いします。詳細はお問い合わせください。

問 下水道管理課 管渠維持グループ ☎633-3391

大雨が降ると

大雨で河川水が濁ることにより、水道水にわずかに土などのおいが付くことがあります。上下水道局では、水質の監視を行い、必要に応じて活性炭を使用して、においの除去に努めていますが、においが感じられる場合があるかもしれません。

これらのおい成分は、安全性に問題ありません。ご不明の点がありましたら、お問い合わせください。

問 水道管理課 水質管理室 ☎674-1399

11月は水道加入促進強化月間です

安全でおいしい水道水をご利用ください！

水道が使える地域で、まだ水道に加入していないお宅へ職員が戸別訪問し、水道への加入をご案内しています。
(訪問する職員は、身分証を携帯しております。)

宇都宮の
おいしい水道水を
利用しよう！！



問 サービスセンター 普及促進グループ ☎633-3127